

実生の輝きづくり

教育目標 自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる 見小の子
 重点目標 自分大好き みんな大好き 見小大好き
 (自分に自信) (共生の心) (学校が自慢)

今年度、見附小学校では『自分大好き みんな大好き 見小大好き』という重点目標の下、様々な教育活動を行ってきました。

後期学校評価アンケートの結果をお示します。全体的な傾向は、右のとおりです。子どもや保護者の皆様の声を基に、来年度に向けて改善を図るとともに、**強みを伸ばす学校づくり**を大切にしていきます。



【後期学校評価から見えた傾向】
 ◎…ほぼすべての項目で肯定的評価が高い。〈子・保〉
 ▲…肯定的評価は高いが、最もよい肯定的評価の割合が前期に比べ低くなった。〈子・保〉
 あいさつや歯磨き、ネット利用時間など、生活面に課題が見られる。〈子〉

徳 絆プロジェクト ～豊かな心と確かな絆づくり～

目指す子どもの姿 ◆ 思いやりの心を持ち、自ら考えて行動する子ども

子ども あいさつをしていますか。
 (肯定的評価合計 友達等：92.0% 地域：93.8%)

友達、先生、お客さん			地域の人		
評価	R4前	R4後	評価	R4前	R4後
よくしている	50.8%	39.8%	よくしている	40.1%	36.2%
だいたいしている	40.7%	48.2%	だいたいしている	44.1%	43.4%
あまりしていない	6.9%	9.9%	あまりしていない	11.5%	17.8%
ほとんどしていない	1.6%	2.1%	ほとんどしていない	4.3%	2.7%

あいさつ運動などの取組が、子どもの意識に結び付いていなかった点が明らかになりました。声の大きさや表情など「よいあいさつ」について考えさせ、子ども発の取組を推進します。

- 3学期重点取組
- 委員会活動と連携させたあいさつの意識化
 - 子ども同士の関係性の向上をねらう学級活動

体 体づくりプロジェクト ～健やかな体と体力づくり～

目指す子どもの姿 ◆ 運動や健康のめあてに向かって進んで取り組む子ども

子ども 体育授業では、めあてをもって運動に取り組んでいますか。
 (肯定的評価合計 92.0% → 93.8% UP!)

ふだん(月～金)1日あたりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール(LINEなども含む)、インターネットをしますか。

評価	R4前	R4後
全くしない	27.6%	23.7%
：	：	：
1時間以上	20.1%	23.7%
2時間以上	8.1%	9.3%
3・4時間以上	9.2%	9.1%

ネット利用時間増の割合は確実に増えていきます。「家庭でのルールや約束を決めている」との回答が増えたことから、家庭でも子どものネット利用への意識は高まっていると考えられます。タブレット持ち帰りも始まり、一層**子どもの生活のデジタル化が進む**ことが考えられます。引き続き家庭と学校で連携して、ネットマナーやルールの定着を図っていきましょう。

- 3学期重点取組
- 子どもが自分のめあてを意識する体育授業
 - 適切なメディアとの関わりや睡眠習慣の醸成

知 授業改善プロジェクト ～学力の向上を目指す授業改善～

目指す子どもの姿 ◆ 学びを深める子ども

子ども 先生は、学力がつくように熱心に教えてくれますか。
 (肯定的評価合計98.6%)

保護者 学校では、適切な学習指導がなされていると思いますか。
 (肯定的評価合計93.4%)

子ども		保護者	
よくしてくる	R4前期	R4後期	十分評価
85.2%	→	82.9%	36.4% → 32.2%

肯定的評価が子ども・保護者共に90%を超えていることから、**個に応じた質の高い学習指導が一定程度維持されている**と捉えています。今後も校内研修等を通して、教師一人一人の授業力や子どもへの指導力を磨き続けたいと考えています。一方、**最もよい肯定的評価について減少傾向が見られます**。教師との信頼関係がより深まっていくような学習指導を全職員で目指していきます。

- 3学期重点取組
- 「話し方・聞き方スキル」の活用と定着

これをやりきる！学校評価を受けた各学年の取組

後期学校評価から見いだした、上記「知・徳・体 3学期重点取組」を受け、**各学年・学習室で「3学期、これをやりきる！」と力を入れる取組を設定しました。**各学年で系統的に、子どもたちの「輝きづくり」に努めます。

	絆プロジェクト —あいさつの意識化—	体づくりプロジェクト —めあてを意識する体育授業—	授業改善プロジェクト —話し方・聞き方スキル活用—
1年	望ましいあいさつの姿を称賛し、みんなで真似をしてよさを実感させる。	縄跳びカードを活用し、一人一人がめあてをもって運動に臨めるようにする。	よい話し方・聞き方について、全員でできるまで待ったり、よい姿を認めたりする。
2年	学年で「あいさつ強調旬間」を設定し、あいさつ名人カードの取組を行う。	縄跳びカードを活用するとともに、学年で長縄パワーアップタイムを設ける。	適切な反応「うなずき・へんじ・ほめほめ」を意識させる。
3年	よいあいさつの姿を互いに伝え合う機会を設定する。	長縄、短縄で個人の目標を設定させ、運動環境を整える。	クラスで大切にしたい話し方・聞き方を教室前方に掲示して意識させる。
4年	子ども同士で声を掛け合い、目指す姿が達成できるよう促す。	授業にカードを取り入れ、目標を達成した子を称賛したり紹介したりする。	話し方・聞き方について振り返ったり話し合ったりする機会をこまめに設定する。
5年	「あいさつ頑張りカード」の取組を行い、取組前後の変化を実感できるようにする。	授業の最初にゴールとなる目指す姿を示し、カードを用いて目標を持続させる。	重点化する話し方・聞き方を帰りの会で振り返らせ、全員で達成度を確認する。
6年	生活委員会のあいさつ運動の活用とともに、手本となる姿を称賛する。	カードに授業のめあてや次回のめあてを具体的に記述させ、目的意識を醸成する。	「対話タイム」を設定し、子どもも担任も自然にスキルを活用し共有できるようにする。
学習室	担任、別の教師、保護者、様々な立場からの称賛の声を伝える。	子どもが体を動かしたくなる道具や機会を遊びや生活の中に取り入れていく。	子ども一人一人に合った話し方・聞き方をスモールステップで習得させる。

自由記述でいただいたご質問・ご意見にお答えします

- Q:子どものやる気を引き出す魅力ある授業や活動をお願いしたいです。等**
 →A:今年度、校時表変更で確保した放課後を利用し、教材を準備したり子どもの情報交換に充てたり、子ども一人一人のよさを引き出す授業・学級づくりの研修を行ってきました。どの子どもも引き上げていけるような授業を教員一同目指していきます。
- Q:ホームページの更新をこまめにしてほしいです。/学校の様子が分かるので、更新を楽しみにしています。等**
 →A:2学期はシステムエラーで更新できない期間が続き、大変申し訳ありませんでした。現在、ほぼ毎日更新を行っています。今後、来年度の150周年記念事業に関する情報なども発信していく予定です。閲覧数が増えるよう努力していきます。
- Q:一人一台端末(タブレット)は、非常時の学びの継続の観点からも活用を期待しています。/端末の持ち帰りやオンライン授業など、実施できるように検討していただきたいです。/授業参観の配信を検討してもらいたいです。等**
 →A:見附市では、来年度より端末の持ち帰りを本格実施する予定です。見附小ではそれに先がけ、タブレットの持ち帰り及びタブレットを用いた家庭学習の試行を始めました。学校・学級閉鎖時または学校行事に関わるオンライン授業についても、前向きに検討し、準備を進めます。
- Q:学習補助員やボランティア等の採用は検討しないのですか。等**
 →A:現在、「見小いろいろボランティア」として、複数のボランティアの方から学習の補助に入りたいと考えています。今後も様々な場面で力をお借りしたいと考えます。学習ボランティアとして参加希望がありましたら、学校までご連絡ください。

職員に対して多くの温かな激励をいただきましたことに感謝いたします。いただいたご意見は全職員で共有し、改善に生かしてまいります。多くの記述のうち、複数質問・要望があった全校に関わるものについて回答させていただきました。

